



としょかんだより

令和7年10月

第5号

牡丹山小学校図書館

あき よなが とくべつ はじめさつ で あ 秋の夜長に、特別な一冊との出会いを

ゆうぐ はや よる じかん なが じき どくしょ きせつ
夕暮れが早くなり夜の時間が長くなるこの時期は、読書にぴったりの季節です。

ちようど 10月27日から11月9日は「読書週間」です。

ことし ひようご
今年の標語は「**こころとあたまの、深呼吸。**」。

ひようご かんが さくしゃ しようかい
この標語を考えた作者のことは紹介します。

『めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。』

こころ ふる いき はっ き いき
心が震え、ため息をつく。ハッと気がつき、息をのむ。

いき
ひと息ついて、まためくる。そうしてこころとあたみに

さんそ み とお およ き
酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気が

します。』



ものがたり よ しゅうちゅう たいけん おも
物語を読むことに集中すると、こんな体験ができると思います。みなさんもチャレンジしてみてください。

こんげつ はっけん ほん 今月のテーマ「あたらしい発見がある本」

『みにくいおひめさま』

フィリス＝マッギンリー／作，中川 宗弥／絵，本の番号：933 ま



おうこく おうじょ
ある王国に、なんでももってる王女がいました。ただひとつ足りないのは、「うつくしさ」だけでした。

ひ おう おうじょ
ある日、王さまが「王女をうつくしくすることができたものに賞金をやる」とおふれを出し、魔法使いがやってくることを期待しましたが、やってきたのはふつうの女の人…。

きたい なに かんが ほん
「うつくしさ」とは何かを考えさせられる本です。

『黒ねこの王子カーボネル』

ジェームズ・サーバー／作，ルイス・スロボドキン／絵，本の番号：933 さ



10才の女の子ロージーは魔女から魔法のほうきと黒ネコを買いました。ところがそのネコはなんと魔法でどれいにされたネコの国の王子さまだったのです！ロージーは友だちと一緒に、ネコにかかった魔法をとこうとしますが...

『うそつきの天才』

ウルフ・スタルク／作，菱木 晃子／訳，本の番号：949 す



「13歳にしてはうそをつくのがうまい」と、自分で言っているウルフ。親にもうそをつきまくり、学校では優等生だと親に信じ込ませていたが、ある日、そのうそがばれてしまう。

こんなどしようもないウルフだが、その飛びぬけたうそつきの才能と努力によって、すばらしい力を発揮することになる。いったいどんな力なのかは読んでからの楽しみ。

保護者向け

としょかんだより



海外でも「読書週間」はあるの？

この時期になると、書店や公共図書館で目にする「読書週間」の文字。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもとに（公益社団法人 読書運動推進協議会 HP より）開催されているこの取組は、日本だけのものではありません。

イギリスやオランダ、ニュージーランドやオーストラリアなどの国でも秋になると「BOOK WEEK」という名称で、学校や書店などで本に関するイベントが行われます。テーマソングが登場したり、クイズやダンスをしたりして楽しむそうです。なかでも子どもたちの一番のお楽しみは、好きな本のキャラクターに仮装すること。なんと、仮装して登校する日もあるそう！学校の中にハリーポッターやウォーリー、マドレーヌちゃんがいるなんて、日本では考えられませんが、とても楽しそうです。学校での読書週間は12月になりましたが、全国の読書週間をぜひ家族で楽しんでください。

